

産業建設委員会記録

令和8年9月25日（金）

13時30分～13時50分

全員協議会室

【委員】村木委員長、西田一平副委員長、
今田委員、大谷委員、川上委員、小川委員、笹田委員

【事務局】村山書記

議題

- 1 議会による事務事業評価に係る評価意見書の作成について（委員間で協議）
- 2 その他

【別紙会議録のとおり】

【会議録】

〔 13 時 30 分 開議 〕

○村木委員長

出席委員は7名で定足数に達しているため、ただいまから産業建設委員会を開会する。それではレジュメに沿って進める。

1 議会による事務事業評価に係る評価意見書の作成について

○村木委員長

本日は、委員会として議会評価意見書を完成させる。

まず、資料を確認する。議員事務事業評価シートについて、予算決算委員会での決算審査を踏まえて提出されたものが2事業分ある。

続いて、議会評価意見書の素案である。これは当委員会で進めてきた所管事務調査を踏まえて作成したものである。

手元にあるのが、山陰浜田港水産物ブランド化推進事業、次のページが観光協会助成事業である。

結果としては、山陰浜田港水産物ブランド化推進事業については、事務事業内容の評価は「現状維持」が多く、「現行どおり」が3名、予算規模についても「現状維持」が多く、「拡充」が3名となっている。

観光協会助成事業についても、事業内容は「要改善」が多く、「現行どおり」が2名、予算規模についても「現状維持」が多く、「拡充」が4名となっている。提出のあった議員事務事業評価シートを踏まえ、議会評価意見書の素案に追記や修正があれば、委員から意見をもらいたい。1つずつ進めていく。

まずは、山陰浜田港水産物ブランド化推進事業である。当委員会の案では、事業内容は「要改善」、予算規模は「現状維持」としている。また、委員からの評価理由や執行部への提案内容などを記載している。これについて、意見や加筆・修正があれば願います。

○西田一平副委員長

執行部への提案内容の5番目、「ブランド化を単独事業とせず」という点についてである。

担い手確保、水産加工、販路拡大など、水産振興施策全体と一体的に進めてもらいたい、聞き取ったところでは、もう少し自由な発想で枠組みを柔軟に使いたいという意向もあった。水産振興施策全体と一体的に、かつ柔軟性を持たせて推進するという表現を加筆したい。

○村木委員長

ただいま西田副委員長から提案があったが、そういった旨を加筆してよいか。

（ 「異議なし」という声あり ）

○西田一平副委員長

7 番のブランド魚種についてである。これは単に「どんちっち」などの対象魚種を指しているのか。

○笹田委員

どんちっち三魚は確定しているからその他に新たな魚価を上げれる仕掛けと考える。

○西田一平副委員長

新たな魚種についても発信等の強化を検討するとした方が執行部も分かりやすいのではないかな。

○川上委員

ブランド魚種の拡大とすれば良いのではないかな。

○村木委員長

5 番と 7 番の表現については正副委員長及び事務局で調整することでよいか。

(「異議なし」という声あり)

続いて、観光協会助成事業についてである。

これについては、川上委員から補足をお願いします。

○川上委員

前回まとめた内容に加え、決算委員会などで出された意見の中から 4 点をピックアップし、提案内容の 5 番、6 番、7 番などに組み入れた。自主財源の拡大、観光案内の機能強化、観光案内看板の修繕や管理主体の整理といった視点を反映させている。

○村木委員長

事業内容は「要改善」、予算規模は「現状維持」としている。意見があればお願いします。

○大谷委員

網羅的に記載されているが、それぞれの取組の連携・一体性について言及があると思う。例えば、観光案内を行う中で、道路標識などが適切に目的地へ誘導するようになっているかどうか観光行政として重要である。関係部署や道路管理者との連携、案内標識の点検・見直し・撤去・新設を含めた管理のあり方について、7 番の項目に集約して明記してはどうか。

○笹田委員

国・県などの関係機関や庁内関係課との協議・連携が必要である。

○村木委員長

今の意見を踏まえ、7 番の項目に現状に合った形への見直し、新設や修繕、関係機関との連携などをしっかりと盛り込む形で修正したいがどうか。

(「異議なし」という声あり)

それでは、今回の協議で決定した内容を当委員会の評価意見書として取りまとめ、全員協議会に報告・確認する。

2 その他

○村木委員長

各委員から何かあるか。

○今田委員

昨日の予算決算委員会での担当課長答弁の中で、農地管理に関する手法が提示された。非常に参考になる手法であったので調べた資料を LINE WORKS で共有している。中山間地域振興などの提言内容にも含めていきたいので、確認をお願いする。

○大谷委員

広報関係（議会だよりなど）の掲載記事について、今回の決算審査や事務事業評価のトピックから主要なものを抽出して記載したいと考えている。

○川上委員

予算決算委員会の副委員長の立場からは、多くの方から意見があり、報告書にもあるふるさと寄附推進促進事業をピックアップしてほしい。

○西田一平副委員長

今回協議した「山陰浜田港水産物ブランド化推進事業」「観光協会助成事業」などを取り上げると市民にも分かりやすいと思う。

○村木委員長

意見を参考に内容を整理して進めてほしい。

その他、特になければ以上で産業建設委員会を閉会する。

〔 13 時 50 分 閉議 〕

浜田市議会委員会条例第 65 条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

産業建設委員会委員長 村 木 勝 也